

公益財団法人大阪府学校給食会

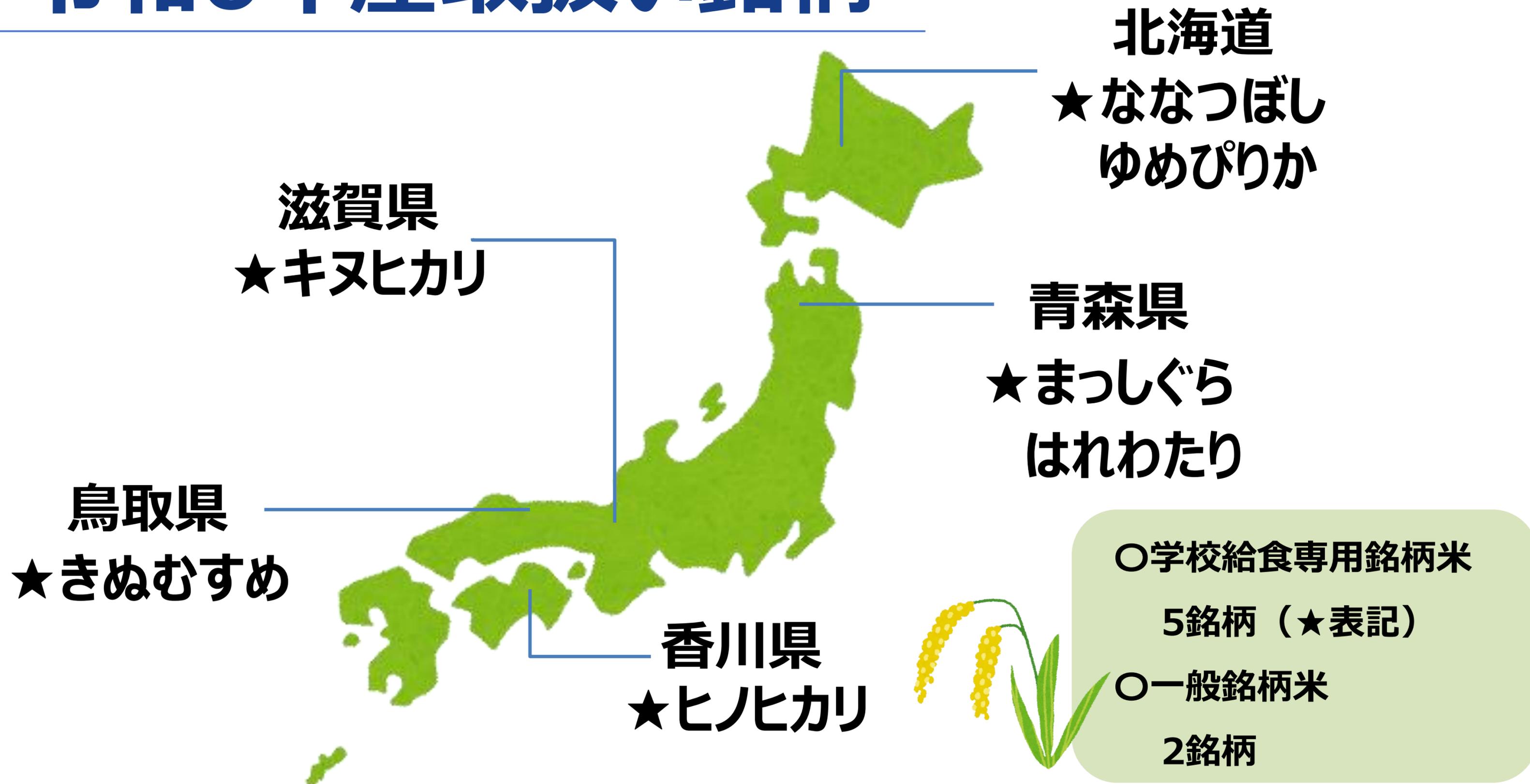
令和6年産精米試食会

大阪赤十字会館3階

2024年10月16日 午後2時～



令和6年産取扱い銘柄



学校給食専用銘柄米とは



<条件>

- 1.原料玄米を産地 J A から直接供給できるお米（米穀業者間取引米は不可）
- 2.産地の圃場またはコントリーエレベータ等を学校給食用として特定、分別できること
- 3.産地 J A が独自で行う各種安全検査を学校給食供給用米で実施できること
- 4.不作時においても安定的に供給が可能であること（1000トン以上供給可能な銘柄）
- 5.大阪府学校給食会が計画する学校給食における食育推進事業に参画できること



上記の条件を満たした銘柄かつ供給実績等ふまえて銘柄の選考。
また、当給食会が全ての産地へ赴き、圃場の生育状況、関係施設、
安全管理状況の確認を行い選定しております。

（平成22年産米より学校給食専用銘柄米制度を採用）

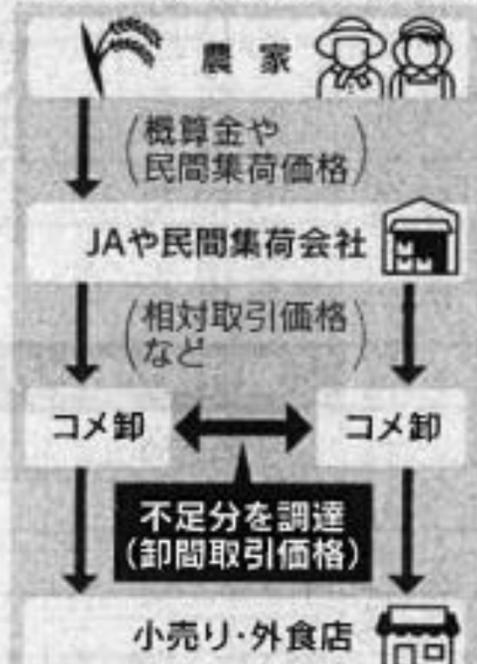


令和6年産米 価格動向

2024年産米の流通が本格化し始めた。主要銘柄のコメ卸会社間での取引価格は23年産米の一回りが始まった時期と比べて8割以上高い値段が目立ち、新潟コシヒカリは新米の一回り期として「平成のコメ騒動」がおきた1993年産米以来31年ぶりの高値水準だ。JAなどからの仕入れ値が上がっていることが大きい。卸相場も当面は神経質な値動きになりそうだ。

24年産米の流通本格化
新潟コシ、31年ぶり高値

コメの一般的な取引の流れ



令和6年産の新米が流通開始...

1993年産米(平成の米騒動)以来31年ぶりの高値

「平成の米騒動」とは...

⇒記録的な冷夏、梅雨前線が長期間停滞したことによる日照不足により、米の収穫量が激減。全国的な米不足となった。



なぜ令和になってこのような状況になったのか？

令和6年産米 価格動向

1. 過去最低の民間在庫量

米穀業界における民間在庫の判断基準として・・・

6月末時点：200万トン以上→**余っている**

180万トンを下回る→**需給がタイト**

<民間流通における6月末在庫量等の推移>

(単位:万トン、%)

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年 (速報値)
民間在庫	161	212	216	181	180	224	220	226	204	199	190	189	200	218	218	197	156
需要量との比率	18.8%	25.8%	26.5%	22.0%	22.1%	28.6%	28.0%	28.9%	26.6%	26.4%	25.7%	25.7%	28.0%	31.0%	31.0%	28.4%	22.2%

農林水産省 6月末在庫量の推移

コロナ渦

<背景>

◆なぜ民間在庫が過去最低まで減少してしまったのか・・・

→コロナ禍で令和2年産・令和3年産のお米が余った事により、米価が大幅に値下がりして生産者所得が大きく減少した。

→政府としては**生産者の所得向上を図るために、令和4年産・令和5年産の2年連続で主食用米を非主食用（飼料用など）に作付け転換を促し、主食用米の流通量を減らす施策を実施した。**

→令和4年産は令和5年6月末時点で200万トンを下回る**197万トンまで減少**、令和5年産は令和6年6月末時点で需給がタイトとなる在庫水準である180万トンを大きく下回る**156万トンまで減少**した。

令和6年産米 価格動向

2. 需要量の増加・供給量の減少

農林水産省の見通しより、需要量が大きく増加した。

※7月30日時点での見通し

		(単位: 万トン)	
令和5/6年	令和5年6月末民間在庫量	A	197
	令和5年産主食用米等生産量	B	661
	令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858
	令和5/6年主食用米等需要量	D	702
	令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	156

需要増加
+21万トン

※3月5日時点での見通し

		(単位: 万トン)	
令和5/6年	令和5年6月末民間在庫量	A	197
	令和5年産主食用米等生産量	B	661
	令和5/6年主食用米等供給量計	C=A+B	858
	令和5/6年主食用米等需要量	D	681
	令和6年6月末民間在庫量	E=C-D	177

民間在庫減

<需要量の増加の背景>

①インバウンドによる需要増

⇒その影響は+3万トン程度と推測

②お米の販売数量が好調

⇒パン・麺類の物価上昇よりも、お米の割安感

※特に米不足という報道や、南海トラフ地震の注意報・大型台風
の接近に伴い、家庭の備蓄が増加したのではと推測

<供給量の減少の背景>

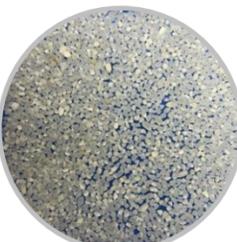
①主食用米の作付減少

②令和5年産米の精米歩留まりの低下

⇒記録的な猛暑の影響から過去最低の1等比率となり、精米歩留まりが低下(全国の主要精米工場の平均で▲1.5%減)



着色粒



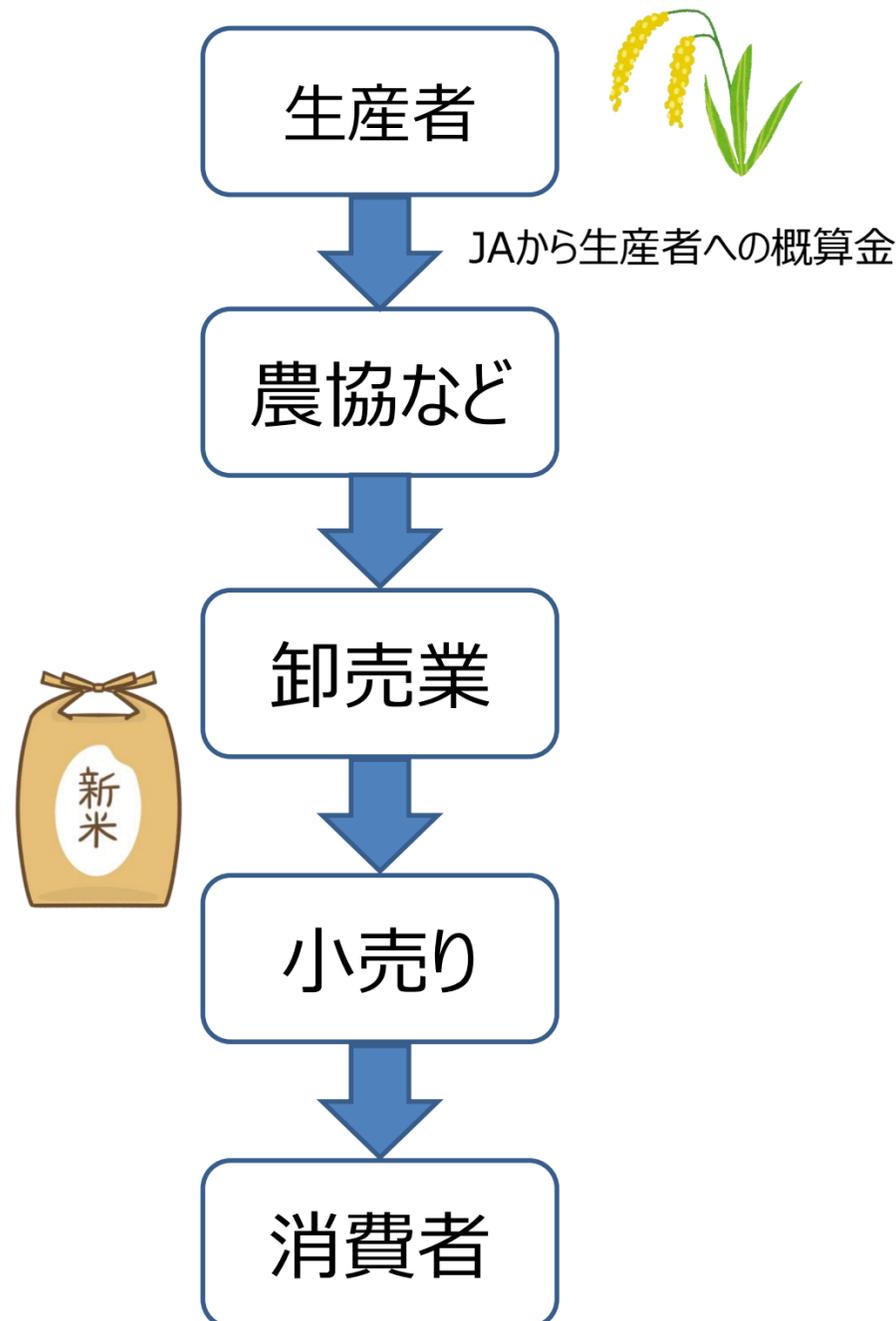
碎粒

令和5年産から米の価格が高騰

令和6年産米 価格上昇の要因

3. 生産者への概算金・生産コストの上昇

米が店頭に出るまで



① 令和6年産米の概算金の引き上げ

- ・令和5年産からの相場の高騰
- ・JAへ出荷するよりも高値で集荷される民間業者へ出荷したほうがメリットがあるとの生産者の判断により、令和6年産は集荷に苦戦。
⇒生産者へ支払う概算金を引き上げざるを得ない状況

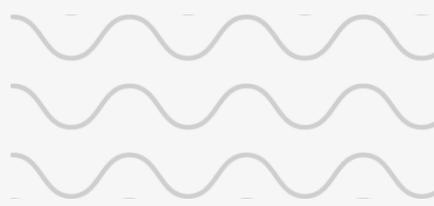
② 生産コストの上昇

- ・肥料・農薬・人件費などの費用の上昇
⇒卸売業の配送費や米袋代なども価格に反映。

令和6年産新米価格について、前年比の60%～80%高で販売されている。

全国のスーパーなどの販売データを集めた日経POS(販売時点情報管理)より

供給までの日程等について



スケジュールと提出書類について

○提出書類

①令和6年産大阪府学校給食用精米申込書

※月別に予定数量を「kg単位」で記入ください。

②令和6年産大阪府学校給食用精米発注ご担当者確認書

※いただいたメールアドレスに発注書の送付します。

10/16(水)

提出書類の配布

※提出書類のデータは
HPからダウンロード

10/30(水)

提出書類①・②
提出期限

11月初旬

令和6年産米用
発注書の送付

11月13日(水)

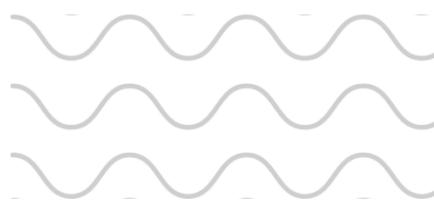
12月需要分
発注書締切日

11月下旬～

新米供給開始



供給までの日程等について



銘柄の変更依頼について

※申込が集中し、数量上限に達した場合など、銘柄の変更依頼いただく可能性がございます。

○下記を優先して、銘柄の割り当てをいたします。

- ・令和5年産米からの継続的なお申込み。
- ・申込書の先着順。(メール可)

あらかじめご了承くださいませよう、お願いいたします。

申込についての注意事項

※重要

○令和6年産の価格について

①ご提示している売渡価格については、12月～3月需要分の売渡価格

※年間同一価格ではないということをご注意ください。

※現状の米の高騰を勘案し、4月～11月需要分の価格については、再見積・交渉のうえ、2月下旬ごろ通知いたします。

②銘柄について

提出資料（令和6年産大阪府学校給食用精米申込書）をもとに、年間使用量する米を確保しているため、原則銘柄の変更はできません。

新米試食

<お願い>

- ・持ち帰り用サンプルは数に限りがございますので、1銘柄につき1市町村1袋
- ・QRコードより食味評価、試食会アンケートのご協力よろしくお願いいたします。



本日12時に炊き上がったご飯です。
ぜひ食べ比べてみてください。

<食味評価QR>



<アンケートQR>

